

きらり館から こんにちは

◆置いてある場所◆野木町役場（入口）、図書館、公民館、ホフマン館
エニスホール、ホープ館、野木駅など

野木町ボランティア支援センター
きらり館
★開館時間 火～土 9:00～17:15
日・祝 9:00～17:00
★休館日 月曜日・年末年始
URL <http://www.town.nogi.lg.jp/>
メール kirarikan@pearl.ocn.ne.jp
〒329-0101 野木町大字友沼4930-1
tel 0280-23-1231 fax 0280-23-1232

◇ きらり館登録団体活動報告 ◇

野木町更生保護女性会『絵手紙展』 素晴らしい絵心 一つ一つの作品に感動！

8月3日から8月19日まで、野木町更生保護女性会（代表 伏木ミサ子さん）による「絵手紙展」がきらり展示館（きらり館敷地内）で開かれました。今回の絵手紙作品は、会員の富田成子さん、中野キヨ子さん、藤江すみ子さん、伏木ミサ子さん、横山和子さん5名が、心を込め一つ一つ丁寧に仕上げたものです。この絵手紙展をとおして、更生保護女性会にすこしでも関心をもってもらい、日ごろの活動を理解してもらえればと思い今回企画しました。

伏木さんに絵手紙の魅力を訪ねると「気分がふさぎ込んだ時などに筆を持って絵手紙に取り組むと、スーッと入り込み、気持ちが晴れやかになる」とのことです。また、みんなで作品作りをすると、お互いに競い合って、相乗効果が出て、レベルが上がり、より素晴らしい作品が出来上がるとのことでした。

絵手紙展に訪れた方の感想を聞くと「絵心が素晴らしいです！」「どれも愛らしい絵手紙。文章もすばらしく感動しました。ありがとうございます」と、賛辞の声が数多く寄せられました。

この絵手紙展の様子は、8月6日テレビ小山放送（ケーブルテレビ）「小山ニュース50」で放映、8月15日下野新聞には「絵手紙を通じて活動アピール」として掲載されました。（取材担当 谷津）

◇ 野木町更生保護女性会とは ◇

女性の立場から、地域における犯罪予防の活動や子どもたちの健全育成のための子育て支援活動などを行うボランティア団体です。女性会の主な活動内容は、社会を明るくする運動として、JR野木駅構内に生け花飾りやエニスホール近くの県道沿い三角花壇の管理。子育て支援として小学校1年生とチューリップの球根植え付け、小山警察、野木交番、佐川野駐在所にチューリップの球根を届けと中学2年生には、立志式に愛の鈴と絵手紙のプレゼント。他には県の研修会参加や、新型コロナ対策としてマスクを作り、公共施設等に配付をしました。

「きらり館」休館のお知らせ

緊急事態宣言発令に伴い、次のとおり休館します。

休館期限 8月20日 ～ 緊急事態宣言解除まで

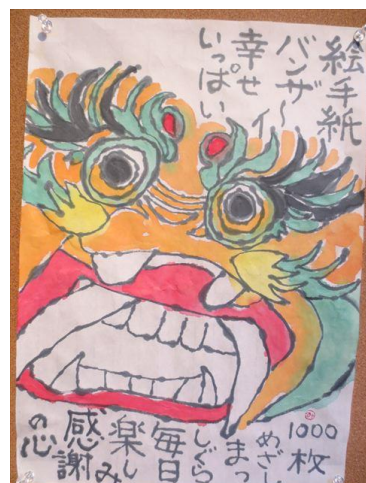
※窓口業務は休止しております。

※休館中は、コピー等の利用もできません。

上記の期間、きらり館の貸館、すべて中止となります。きらり館の会議室（第一、第二）、展示館、交流室、レンタサイクルは、利用できません。

《きらり館登録団体主催 中止となる事業》

団体名	事業名	日時	場所
野木町更生保護女性会	絵手紙展	8月20日（金）～ 8月31日（火）	きらり館
子育てサロンボランティアえくぼ	子育てサロン	9月6日（月） 10時～12時	新橋児童館
ほっと♡ステーション	地域食堂	9月10日（金） 17時～19時	きらり館
読書のまちづくり応援団	読書サロン	9月12日（日） 13時30分～16時	野木町立図書館



熱心に見学



テレビ小山放送の取材を受ける



◇ きらり館登録団体活動報告 ◇

ひまわり真空管クラブ・読書のまちづくり応援団 共催
親子でゲルマニウムラジオの組み立てに挑戦

図書館工作教室

2 時間かけてやっと組み立て完成 そして 音が出た瞬間 親子で感激！

子どもたちが夏休みに入った 7 月 25 日（日）午後 1 時 30 分より、野木町立図書館で、小学 3 年生以上を対象に、ひまわり真空管クラブと読書のまちづくり応援団共催で、親子ゲルマニウムラジオの組み立てが行われました。この日の参加者は親子 7 組です。参加費は 500 円（材料費）です。講師は、ひまわり真空管クラブ代表の石塚和則さん、サポート役として 3 人のスタッフがつきました。この日作るゲルマニウムラジオは、受信場所が放送局から遠い所では聴こえない場合があるため、今回は特別にソーラー電源を使ったアンプを追加しました。



参加者のみなさん



コイルづくり



組み立て方をアドバイス



あっ、聴こえる

<音がでるしくみを学習>

最初に、ゲルマニウムラジオの音がでる仕組みについて学習しました。次に完成までの作業手順、使う材料・道具を確認して、いざ組み立て開始です。

<巻き数をまちがえないようコイルづくり>

最初の難関、コイルづくりに挑戦です。ポテトチップの空容器の筒に、直径 0.3mm の銅線を巻きつけます。線と線の隙間を開けないように片寄せしながら、ぴったり 56 回巻きつけます。これがなかなか難しいです。親子で協力し、巻いた数を数えながら重ならないようにいねいに巻きつけました。

<配線をまちがえないように、組み立て>

コイルができた次は組み立てです。台となる板の上に、コイル・ゲルマニウムダイオード・ポリバリコン・アンプ・ソーラー電源を配置し、回路図に従って結線していきます。結線が出来たらダイヤルをつけ、最後にイヤホンを取りつけたら完成です。

皆さん必死でラジオ組み立てに取り組み「むずかしそう」とつぶやきながらも、スタッフの助けを借りながら 2 時間でラジオを作り上げました。

<ついに完成！ はたして音がでるか？>

完成後は、みんなで電波状況がいいペランダに移動して、つくったラジオを聴いてみました。イヤホンから聞こえてくる放送に「あっ、聴こえる。やったー」と喜びの声をあげる小学生もいました。右手でイヤホンを押さえ放送にじっと聴き入っている親子の姿がとても印象的でした。

<全員 ラジオから音がでました！>

スタッフの皆さんが優しく、ていねいに教えてくれたおかげで、全員ラジオから放送を聴きとることができました。（取材担当 谷津）

このラジオを作ります



きらり館開設 10 周年記念情報誌（9 月発行）



オープニングセレモニー

「きらり館」は、平成 23 年 6 月に市民の自発的なボランティア活動や社会貢献活動の推進策を実施するため、「小さくてもキラリと光るまちづくり」をキャッチフレーズに活動の拠点としてオープンしました。本年 6 月で満 10 年を迎えましたので、当時の思い出等を真瀬宏子町長並びに歴代利用者協議会長、センター長にご寄稿いただきました。9 月に号外 10 周年記念「きらり館からこんにちは」情報誌が発行されますので、ぜひ、ご一読ください。

「きらり館」雑学あれこれ その 2

きらり館には、次の 3 つのものが備わっています。それを紹介します。

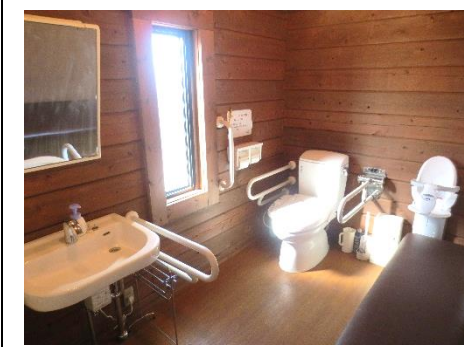
AED（自動体外式除細動器）

AED が設置されています。緊急時どなたでもご利用いただけます。



バリアフリートイレ

車いす利用の方、小さな子ども連れの方等が利用しやすいようになっています。ベビーチェアやユニバーサルシート、洗面施設が設置されています。



赤ちゃんの駅

おむつ替えができるベビーベッドが置いてあります。また、授乳しやすいようカーテンで仕切れるようになっています。お気軽にご利用ください。



8 月の来館者

★来館者
来 館 176 人

★ 8 月末現在の登録

団体 84
個人 35
災害 56

スタッフより

編集後記

ゲルマニウムラジオ組み立てに参加しました。コイルを巻き、回路図にしたがって組み立てましたが音が出ません。失敗は、ゲルマニウムの向きが逆でした。直してやっと音が出ました。感動！（谷津）

